

## 地域密着型金融の取組事例について

 タイトル 担い手金融リーダーの設置      JA名 JA大井川（静岡県）

1 動機 (経緯)	当JA大井川管内においては、お茶産業が盛んであります。高齢化が急速に進んでいる中、担い手とJAとの繋がりも薄れつつあり、有数のお茶産地を守る為に担い手金融部署と農業相談員の必要性が高まり設置いたしました。
2 概要	各基幹支店ごとに、担い手金融リーダーと農業相談員を設置いたしました。大規模農家・法人等を中心に、メイン強化定期訪問を実施しており、金融並びに営農指導の両方の相談に対応しております。
3 成果 (効果)	信用部門・営農部門との連携により、担い手向け金融機能の強化が図られました。メイン強化先への定期訪問により、農業資金等のニーズを迅速に把握する事ができ、対応を行う事ができました。担い手とJAの関係強化が図られました。
4 今後の 予定 (課題)	今後も、担い手とJAの関係強化の為に定期訪問を継続します。また、中小規模農家へも訪問対象を広げていく必要があります。 本年度は、大規模なお茶の凍霜被害を受けました。訪問を重ねるうちに、運転資金の融資の話が持ち上がり、災害対策資金融資の受付を開始しております。貸付金額は、個人は最高500万円基準金利は年1.5% 但し農協の利子補給を0.75%として、地方公共団体等の利子補給を受ける場合につきましては、その相当額をさらに引き下げるものです。